

## GRI 認定研修一部変更予定について

### 弊社における今後の GRI 認定研修変更予定について

以下内容は GRI 本部から公式発表されている内容ではございませんが、弊社が GRI 本部より聴取した内容を GRI 認定研修に現在参加されている方、今後参加を検討される方に参考情報として提供差しあげます。GRI の公式な決定内容ではないことにご留意ください。

GRI 認定研修の変更については適宜 GRI Academy サイト [GRI - GRI Academy \(globalreporting.org\)](https://www.gri-academy.org) も併せてご確認ください。

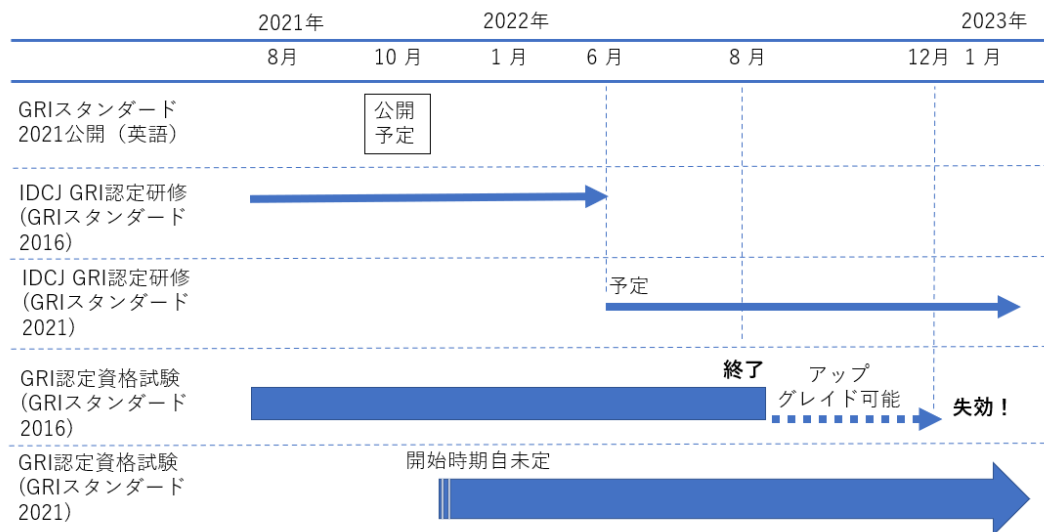
弊社ホームページや GRI 認定研修を受講中の一部の皆様には 2021 年 10 月 5 日（10 月 4 日から変更）に予定されている GRI スタンダード改定の正式発表に向けて GRI Academy の GRI Certification Program にも一部変更が予定されていることはお知らせ申し上げておりました。

弊社における GRI 認定研修につきましては GRI Academy の指導のもと、2021 年 10 月 5 日以降も現在の GRI 共通スタンダード 2016 に基づく GRI 認定研修を 2022 年 6 月末までを目途に継続致します。

なお現在の弊社 GRI 認定研修受講中の皆様、お申込みの皆様におかれましては GRI Academy が提供する資格試験（GRI Certified Sustainability Professional Examination）を 2022 年 8 月末まで受験することが可能です。

現在の GRI 認定研修から新 GRI 認定研修への移行期間中は、GRI Academy 上に、GRI スタンダード 2016 と GRI スタンダード 2021 に基づく 2 つの試験パスが共存することになります。

1 つのパスは、GRI 認定サステナビリティ・プロフェッショナル資格試験（GRI スタンダード 2016 に基づく）、もう 1 つのパスは、GRI 認定サステナビリティ・プロフェッショナル資格試験（GRI スタンダード 2021 に基づく）となります。



### 予定される変更の概要

2021年10月5日以降のGRI認定研修及び資格試験（GRI Certified Sustainability Professional Examination）については、以下が想定されています。

#### 1) 弊社におけるGRI認定研修について（GRIスタンダード2016、現在のルートB）

GRIスタンダード認定研修(GRIスタンダード2016)、SDGsのサステナビリティ・レポートへの統合研修およびGRIサステナビリティ・レポート・プロセス研修受講者については現在のルートBにおける全研修もしくはGRI Academyにおける同等のコースを修了された方は現在のGRI AcademyにおけるGRI Certified Sustainability Professional Examination(based on GRI Standards 2016)を受けることができます。現在の弊社におけるGRI認定研修(現在のルートB)については2022年6月末までにはフェーズアウトすることを予定しており、その後は弊社における新GRI認定研修に移行致します。

#### 2) 弊社における新たなGRI認定研修(GRIスタンダード2021)

新たなGRI認定研修(GRIスタンダード2021)は、2022年半ばに開始予定です。これは、GRIスタンダード認定研修-GRIスタンダード2021によるレポート、GRIスタンダード2021による人権レポート、SDGsのサステナビリティ・レポートへの統合研修で構成される予定です。

1)弊社 GRI Certified Training (Present Route B)	2)弊社 GRI Certified Training (launch expected in mid-2022)
1.GRI Standards Certified Training GRI スタンドアード認定研修	1. GRI Standards Certified Training-Reporting with GRI Standards 2021 (new) GRI スタンドアード認定研修-GRI スタンドアード 2021 によるレポートイング(新)
2.. Integrating the Sustainable Development Goals (SDGs) into Sustainability Reporting Licensed course SDGs のサステナビリティ・レポートイングへの統合研修	2. Integrating the Sustainable Development Goals (SDGs) into Sustainability Reporting Licensed course(current) SDGs のサステナビリティ・レポートイングへの統合研修
3.GRI Sustainability Reporting process Licensed Course GRI サステナビリティ・レポートイング・プロセス研修	3. GRI Licensed Course-Reporting on Human Rights with GRI Standards 2021(new) GRI スタンドアード 2021 による人権レポートイング(新)

**留意事項：**

2021 年のスタンダード改定では構造、概念、要求事項、国際協定、手引き、原則、人権などに関し大幅な変更があるため、新規受講者には新たな「GRI スタンドアード認定研修-GRI スタンドアード 2021 によるレポートイング」、「GRI スタンドアード 2021 による人権レポートイング」に加え「SDGs のサステナビリティ・レポートイングへの統合研修」を受講することが推奨されます。

GRI 認定サステナビリティ・プロフェッショナル資格を有し GRI スタンドアード 2021 へのアップグレードを希望する者は 2022 年 12 月 31 日まで利用可能なアップグレードパスが用意されるので、これを利用し「GRI スタンドアード 2021 によるレポートイング」、「GRI スタンドアード 2021 による人権レポートイング」を受講することで改めて資格試験を受ける必要はありません。

2023 年 1 月 1 日以降に GRI スタンドアード 2021 による GRI Certified Sustainability Professional 資格を取得するには、フル・サーティフィケーション・パスを修了する必要があります(「GRI スタンドアード 2016 認定試験」に基づいた「GRI Certified Sustainability Professional」の認定は、2022 年 12 月 31 日まで有効です)。

(1) 弊社 GRI 認定研修、(2)新弊社 GRI 認定研修(2022 年半ばに開始予定)を修了した方は、GRI Academy のプラットフォームで資格試験を受けることができます。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4. GRI Certified Sustainability Professional Certification Exam(based on GRI Standards 2016) Available only up to the end of August 2022 for learners on (GRI Universal standards 2016)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4. GRI Certified Sustainability Professional Certification Exam (based on GRI Standards 2021) new</li> </ul>
---	---

現在の弊社 GRI 認定研修受講者のうち、全ての研修を修了していない方は、必須研修を修了の上で 2022 年 8 月末までに Academy のプラットフォームで受験できるチャンスがあります。

2021 年 10 月初旬に予定されているユニバーサルスタンダード 2021 改訂版の発表に合わせて、最新の動向をウェブサイトや GRI 認定研修などでお知らせしていきます。また、受講者・受講希望の皆様におかれましては、[GRI - GRI Academy \(globalreporting.org\)](https://www.globalreporting.org) サイトを定期的にご確認いただくことをお勧めいたします。

2021 年 10 月 5 日に予定されている改定共通スタンダード 2021 の発表に伴う動きにつきましては弊社ホームページや GRI 認定研修の場を通じ皆様に最新情報をお伝えしたいと思います。

なお、GRI スタンダード認定研修に登録されている方には直近で GRI Academy からご案内が届いている可能性もございます。併せてご確認ください。

当資料に掲載する情報は、一般的なガイダンスに限定されています。

本資料は、信頼できる情報源から得た情報を、確実に掲載するようあらゆる努力をしておりますが、弊社国際開発センター (IDCJ) は、間違い、情報の欠落、あるいは、掲載されている情報の使用に起因して生じる結果に対して一切の責任を負わないものとします。当資料に掲載されている全ての情報は、その時点の情報が掲載されており、完全性、正確性、時間の経過、あるいは、情報の使用に起因して生じる結果について一切の責任を負わないものとします。また、あらゆる種類の保証、それが明示されているか示唆されているかにかかわらず、また業務遂行、商品性、あるいは特定の目的への適合性への保証、また、これらに限定されない保証も含め、いかなることも保証するものではありません。

本資料は、個人の私的使用、その他著作権法によって認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（複製、頒布、改変、公衆送信、再利用及び転送等を含む）することは、事前に当社から書面による許諾を得ない限り禁止します。